

ここで紹介するニュースは、ほとんどの場合、日頃からOS・アプリケーション・アンチウイルスのデータベース等を常に最新の状態に保つこと、併せて、UTM導入等によるネットワーク全体の防御を行うことで対策できます。

●2014年のネット不正送金被害は約29億1000万円、前年比2倍に (法人名義口座の被害が拡大)

<http://www.itmedia.co.jp/enterprise/articles/1502/12/news140.html>
http://www.npa.go.jp/cyber/pdf/H270212_banking.pdf



このニュースをザックリ言うと…

- 2月12日(日本時間)、警察庁より2014年のインターネットバンキング不正送金事件の発生状況等について発表がありました。
- 確認された被害件数は前年度1315件から561件増加の1876件と約1.42倍になった一方、被害額は前年度約14億600万円から倍以上の約29億1000万円となりました。
- 不正送金処理を自動で行うウイルスの利用など手口の悪質・巧妙化が進んだ一方、国際的なボットネットのテイクダウン作戦により、国内で確認された約15万5,000件の感染端末利用者に対する注意喚起を推進するなどの対策も進められています。

AUS便りからの所感等

- こういった犯罪の被害者にならないようにするには、まずは「これまでこういった手口が使われたか？」について学習し、また日々報告されるであろう「これまでにない新しい手口」についてニュース情報に注視することが肝要です。
- そして、うっかりマルウェアが侵入しそうになる、または侵入してしまったマルウェアによって誘導されることを防ぐため、アンチウイルスやUTM等による防御を固めることは決して欠かせないことと言えるでしょう。

記事一覧 IT導入事例 セキュリティ 中堅・中小IT ブログ 用語事典 ホワイトペーパー 転職・求人

注目のテーマ > クラウド > ビッグデータ > モバイル > ソーシャル > 海外速報

ITmedia エンタープライズ > 2014年のネット不正送金被害は約29億1000万円、前年...

2015年02月12日 16時23分 更新

2014年のネット不正送金被害は約29億1000万円、前年比2倍に

警察庁がまとめた不正送金被害は、2013年の約2倍となる約29億1000万円だった。法人名義口座に係る被害が拡大している。

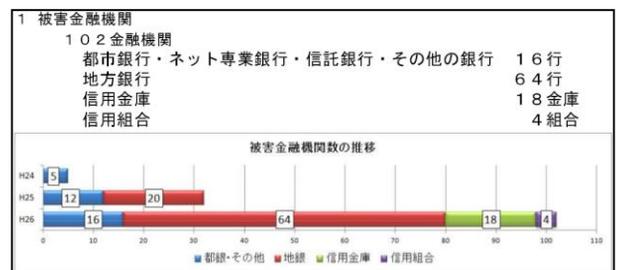
[ITmedia]

印刷/PDF ツイート 24 いいね! 12 チェック +1 0 Pocket 8 通知

システム運用の基本は「見える化・標準化・自動化」にあり
 教えてエバンジェリスト:ストレージ運用はどう変わる?

警察庁は2月12日、2014年のインターネットバンキング不正送金事件の発生状況などについて発表した。確認された被害件数は1876件で被害額は約29億1000万円に上り、2013年の被害額(約14億600万円)の約2倍となったことが分かった。

被害は全国102の金融機関で確認され、内訳は地方銀行が64行と最も多く、以下は信用金庫の18金庫、都市銀行・ネット専門銀行・信託銀行・その他の銀行の16行、信用組合の4組合だった。口座の種類別の被害状況は個人名義が約18億2200万円(62.6%)、法人名義が約10億8800万円(37.4%)。個人名義口座の被害は、都市銀行などでは56.8%と高いが、地方銀行などでは5.8%と低い。一方で法人名義口座の被害は、都市銀行などでは8.6%だったが、地方銀行などでは28.8%を占めていた。



●Twitterにおけるスパム投稿の手口...ニュースをネタにした不正アプリ連携への誘導、対策ツールを名乗る不正アプリも

<http://nlab.itmedia.co.jp/nl/articles/1502/01/news014.html>
<http://nlab.itmedia.co.jp/nl/articles/1502/08/news009.html>



このニュースをザックリ言うと...

- Twitterにおけるスパム投稿について、新旧様々な手口が話題になっています。
- よく使われる手口は、話題のニュースについてのつぶやきが投稿されリンクをクリックして表示されるアプリと連携すると、自身のアカウントからスパムが投稿されたり、勝手に広告等をリツイートさせられたりするというものが挙げられます（最近ではシリアで発生した日本人人質事件等がネタにされているようです）。
- そのほか、そういったスパム投稿への対策ツールと銘打ちながら、それ自身がスパム投稿を行う悪意のあるアプリだった、というケースも報告されています。

AUS便りからの所感等

- こういったスパム投稿の拡散、そして自らもスパム投稿者に組み込まれるような仕組みは、マルウェアの拡散と感染にも似通ったものと言えます。
- また、それまで人気があり信頼されてきたアプリが何らかの事情により悪意のある者に乗っ取られ、連携していたユーザがやはり不正行為を強制されるケースもあります。
- こういったものの多くは、Twitter上で検索することにより被害報告や注意喚起が投稿されているのを見つかることができるので、怪しいアプリとの連携を要求された場合は十分に調査することを心がけましょう。

2015年02月01日 13時59分 更新

邦人人質事件に便乗したスパムツイートに注意

ニコニコニュースを名乗るスパムも報告されている。

[ねとらぼ]

印刷/PDF ツイート 466 いいね! 99 16 8+1 1 メールで送信 通知

シリアでの邦人人質事件に便乗した悪質なスパムがTwitterで出回っています。

スパムツイートは事件に関する画像や動画がみられるとうたって、ツイートに添付されたURLをクリックするよう促しています。クリックするとアプリ連携を求める画面に誘導され、認証すると自身のアカウントからスパムツイートが投稿されてしまうというものです。

●IPA 2月の呼びかけ、不正なソフトウェア購入誘導への注意喚起

<http://www.ipa.go.jp/security/txt/2015/02outline.html>



このニュースをザックリ言うと...

- 2月2日（日本時間）、独立行政法人情報処理推進機構（IPA）が毎月行っている「今月の呼びかけ」の「2015年2月の呼びかけ」が発表されました。
- 呼びかけでは、突然見慣れないウイルススキャンが始まったような画面が表示され、ソフトウェアの購入を促す広告がWeb閲覧中等に表示されるといったIPAへの相談が取り上げており、そのうちPCの脆弱性を悪用して入り込むようなタイプのもは下火になった一方、ユーザ自身によるインストールを促すタイプが主流となっている模様です。
- IPAでは、「広告にエラーメッセージが表示されても慎重に行動すること」、「他のソフトウェアと一緒に不審なソフトウェアをインストールしている可能性もあるのでそれをアンインストールすること」等と呼びかけています。

AUS便りからの所感等

- ユーザを脅かしてインストールするよう誘導する、いわゆる「スケアウェア」についてはマルウェアの一種としてアンチウイルスやUTM等が対応している場合もあるため、まずはそれを導入することが重要です。
- もちろん、IPAが呼びかけるとおり慎重に行動すること、また件数は少なくなったとは言え他のマルウェアが狙うこともあるためOSやJava・Flash Playerといった各種ソフトウェアを最新に保つこと等、いずれも必要不可欠であり、これらの組合せがPCやネットワークを強固に保つことになります。

「その警告表示はソフトウェア購入へ誘導されるかも知れません」
～ Yes. Ok. クリック前に 一呼吸※ ～

※ 第10回IPAひろげよう情報モラル・セキュリティコンクール2014 課題部門
最優秀賞 祐植 創太 さん(神奈川県横浜市立南希望が丘中学校)の作品

「パソコンの調子がおかしくなったようだ。性能が低下しているというエラーが出る」等の相談がIPAに多く寄せられています。具体的には、ウェブサイトを閲覧中に図1のようなメッセージが表示されたが、パソコンに問題があるのかという相談です。

注意! お使いのパソコンの性能が低下しています!
すぐにエラーを修正してください [ダウンロード]

図1: パソコンの不調を示唆するようなメッセージ(相談内容を基にイメージをIPAにて作成)